

CLIPPEDIMAGE= JP404269048A
PAT-NO: JP404269048A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04269048 A
TITLE: AUTOMATIC TELEPHONE DIALING SYSTEM UTILIZING
TELEPHONE DIRECTORY WITH
BAR CODE

PUBN-DATE: September 25, 1992

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
WATANABE, KAOKO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME
NEC CORP

	COUNTRY
	N/A

APPL-NO: JP03029755
APPL-DATE: February 25, 1991

INT-CL_(IPC): H04M001/274

ABSTRACT:
PURPOSE: To attain automatic telephone dialing without
mistake by providing a
bar coded telephone directory to the system.

CONSTITUTION: When a bar code read mechanism 4 of a
telephone set 3 reads a
destination telephone number from a bar coded telephone
directory 2, the
telephone set 3 makes automatic dialing to the destination
based on the
telephone directory 2 and is connected to a destination
telephone set 8 via a
public telephone line network 7. A bar code integrated
telephone number
printer 1 is used to print out a telephone call destination
onto the telephone
directory 2. Thus, a wrong dialing of the destination
number at the number
entry is not caused and proper automatic telephone dialing
is implemented.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-269048

(43) 公開日 平成4年(1992)9月25日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 4 M 1/274

識別記号

庁内整理番号

7190-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平3-29755

(22) 出願日

平成3年(1991)2月25日

(71) 出願人

000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者

渡邊 佳穂子

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式

会社内

(74) 代理人

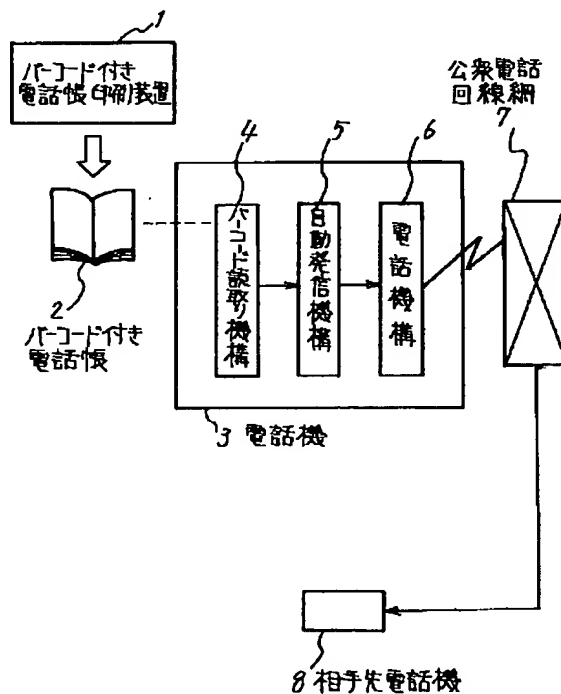
弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 バーコード付き電話帳利用による自動電話発信方式

(57) 【要約】

【構成】 バーコード付き電話帳印刷装置 1 により電話番号をバーコード化した電話帳を印刷する。次に、電話機 3 は印刷されたバーコード付き電話帳 2 の電話番号を読み取り、自動発信を行い、公衆電話回線網 7 を介して相手先電話機 8 と接続され通話可能となる。

【効果】 誤発信がなくなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話番号をバーコード化した電話帳を印刷する印刷装置と、前記印刷装置により作成したバーコード付き電話帳から前記電話番号を読み取るバーコード読取り手段を有する電話機とを備え、前記バーコード付き電話帳を前記電話機に挿入することにより相手先電話機へ自動発信することの特徴とするバーコード付き電話帳による自動電話発信方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は電話発信方式に関し、特にバーコードを利用した自動電話発信方式に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の自動電話発信方式は、自動電話発信機構及び記憶機構をあらかじめ内蔵している電話機に相手先の電話番号と相手先識別番号を電話機のキーにより入力し、自動発信を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この従来の自動電話発信方式では、相手先電話番号の自動発信を行っているため、予め相手先電話番号を電話機の記憶機構内に入力しておかなければ自動発信が行えなかった。また、相手先電話番号を入力する時、オペレータが電話番号を間違えて入力した場合でも自動電話発信を行うため、相手先を確認して初めて電話番号の間違いに気づき、再度入力する手間がかかるという問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のバーコード付き電話帳による自動電話発信方式は、電話番号をバーコード化した電話帳を印刷する印刷装置と、前記印刷装置により作成したバーコード付き電話帳から前記電話番号を読み取るバーコード読取り手段を有する電話機とを備えて構成されている。

【0005】

【実施例】 次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の一実施例を示すブロック図

である。

【0007】 本実施例のバーコード付き電話帳による自動電話発信方式は、図1に示すように、バーコード化した電話番号を電話帳に印刷するバーコード付き電話帳印刷装置1と、バーコード読取り機構4、自動発信機構5及び電話機構6を内蔵する電話機3とを備えて構成されている。

【0008】 次に、電話を掛ける場合、電話機3のバーコード読取り機構4によりバーコード付き電話帳2から相手先の電話番号を読み取らせる。そうすると、電話機3はバーコード付き電話帳2から相手先に対して自動発信を行い、更に、公衆電話回線網7を介して相手先電話機8と接続され、必要な通話を行うことができる。

【0009】 なお、電話を掛ける必要があると思われる相手先については、予めバーコード付き電話帳印刷装置1を用いてバーコード付き電話帳2を印刷しておけばよい。

【0010】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、電話番号をバーコード化した電話帳を印刷できるバーコード付き電話帳印刷装置と、バーコードを印刷した電話帳から電話番号を読み取り自動電話発信を行う手段を有する電話機とを備えて自動電話発信を行うことにより、予め相手先電話番号を入力することなく、しかも、入力に伴って相手先電話番号を間違えることなく、自動電話発信を行うことができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- | | |
|---|----------------|
| 1 | バーコード付き電話帳印刷装置 |
| 2 | バーコード付き電話帳 |
| 3 | 電話機 |
| 4 | バーコード読取り機構 |
| 5 | 自動発信機構 |
| 6 | 電話機構 |
| 7 | 公衆電話回線網 |
| 8 | 相手先電話機 |

【図1】

